

令和5年度 第2回高知市食育推進会議 議事録

日時：令和5年10月16日（月）18：30～20：30
場所：総合あんしんセンター3階 大会議室

1 開会（司会：健康増進課 課長補佐）

2 議事

（1）報告事項 高知市食育に関するアンケート調査結果

①高知市食育に関するアンケート調査結果概要

<事務局説明>

高知市食育に関するアンケート調査結果について説明。

【質疑応答】

委員からの質問なし

②第3次高知市食育推進計画 食育推進に向けた目標値 達成状況

<事務局説明>

資料（p6）を用いて、第3次高知市食育推進計画食育推進に向けた目標値の達成状況について説明。

【質疑応答】

委員からの質問なし

③アンケート結果から見てきた高知市の課題

<事務局説明>

資料（p7）【課題】【方向性】について説明。

【質疑応答】

●50歳代以降で朝食を毎日食べない割合が増えたことについて

<委員>

- ・50歳代は中年太りを気にして食事を抜くということをしているのではないか。
- ・食べる習慣がない家庭では、親が朝食を食べないと子どもも食べないことになってしまうので、それは怖い。その子が親になれば、私の家は朝食を食べない家だったから朝食は食べないということになると、より一層怖い。
- ・昔と違い、最近では別に朝は食べなくてもいいという人が増えている。大学でも、朝は食べない、家族みんな食べないという学生もいる。

●高齢者で共食を希望する割合が低いことについて

<委員>

- ・この3年間で大きく影響している。地域で集まる人は、以前は60歳代が多かったが、現在は70歳代以上になり、その方がコロナの期間にさらに年をとり、入院したり具合が悪くなったりしているので、なかなか巻き返しは難しいのではないか。
- ・徐々にコロナが収まってきて、共食ができるようになってきているので、少しずつ取り返していきたい。
- ・今は敬老会シーズンだが、慎重になっている地区は開催していないのが現状。開催した地区は久しぶりに楽しかったとか、みんなで集まるけど、食事は控えて開催するなど、地区によって分かれている状況。食事を共にするというのであれば、参加を控えるという人もいる。集まって皆で食事をするのは、すごく楽しいということはわかっているし、皆やってみたいとは思っているが、まだちょっと敬遠している状況。

- ・外出がおっくうになっているということもあるのでは。

●伝統食・高知ならではの食事を食べる子どもの割合が低くなっていることについて

<委員>

- ・伝統食については、小学校や中学校でも積極的に給食に取り入れていただいている。中学校給食が始まったことで、中学生は伝統食に接する機会が増えたように感じる。
- ・食材の高騰もあり、地元の食材を使うということが難しくなっている。保護者の話でも高知県産の安全なものを食べさせてあげたいが、地元なのに高いところがあると聞く。
- ・核家族化により、伝統料理を伝えるということを家庭で行うことができなくなっている現状。
- ・私たち保護者も、親から学べたことも、逆に学べなかったこともたくさんあるので、教えていただける機会があると少しでも違うのではないかと思う。
- ・食材高騰が止まらず、値上げが続いている。今、四方竹や新高梨を一生懸命販売している時期だが、食単価としては高くなりがちで、メインの食材にはなりにくい。ガソリンや電気代の高騰も気になっており、その中でいかに購入してもらえるかが課題。
- ・私たちも一生懸命、レシピや使い方を伝えている。給食で四方竹が使えるかということそうではないと思うので、かなり難しい問題になってきていると思う。生産者も頑張っているのに、スーパーマーケットとしても精一杯、提案を続けていきたいと思っている。
- ・伝統食は講習会で教えてもらうもの、子どもが学校で食べるものということから広がり難いと思う。子どもが給食で食べたものを、親が作ってくれるだろうかということもある。アンケートにもあったが、ゆとりがないとなかなか難しいのではないかと思う。その分、小学校や中学校の給食で頑張ってもらっているのだから、そういう地道な活動が大事ではないかと思う。

(2) 協議事項 第4次高知市食育推進計画について

①計画の位置づけ・計画の期間

②スローガン・食育推進の視点

<事務局説明>

計画の位置づけ・計画の期間について、スローガン、食育推進の3つの視点について説明。

【質疑応答】

①計画の位置づけ・期間について

第4次計画期間を高知県食育推進計画に合わせ、また高知市の健康づくり計画との整合性を高めるため、6年間の計画に変更する。

⇒ 異議なし

②スローガン・食育の視点について

●スローガンについて

引き続き、今までの計画を引き継いだスローガンとする。

⇒ 異議なし

●食育推進の視点について

3つの視点の説明内容について、国の健康日本21（第3次）の考え方を取り入れ、SDGsの考え方も踏まえた内容を追加した案を事務局から提示。

⇒ 異議なし

③取組の柱と具体的な取組

<事務局説明>

資料（p11）を用いて取組の柱、具体的な取組について説明。

【質疑応答】

●取組の柱について

第3次計画から以下のとおり変更

- ・「生涯を通じた」を加え、「生涯を通じた健康なところと身体のための食育」
- ・「豊かな食を実現するための食育」から「次世代に豊かな食をつなぐための食育」

⇒ 異議なし

●具体的な取組について

第3次計画から変更なし

1つ目の柱で6つ、2つ目の柱で4つの合計10の取組とする。

<委員>

- ・低栄養を予防するための取組について

今は受精した日が本当に生まれた日ということで、2歳までの1000日の栄養が大切と言われている。2500g以下で生まれた低栄養の赤ちゃんは、将来、肥満や心疾患になるというデータがあるが、この低栄養には高齢者だけではなく、胎児期からの啓発も含まれているのか。

⇒ (事務局)

- ・現在の第3次計画においても、低栄養を予防するための取組には、高齢者だけではなく若い女性においても見過ごせない課題ということで、若い女性から子どもにつながっていくと表現をしている。
- ・今回はよりライフコースアプローチを意識して、そういったことを取り入れた内容で計画を策定予定。

- ・ライフコースアプローチを意識した健康づくりについて

今は妊婦さんが肥満を気にして、2500g以下で生まれる子どもが増えている。そういう子が大きくなると、生活習慣病になりやすいということなので、妊婦さんが栄養を十分に摂ることが赤ちゃんにも大事だということを伝えていきたい。

⇒ この方向で進めるということで異議なし

- ・取組とは具体的にどういったことをされるのか。例えば、補助金を出すだとか、こういう施策を行っていく等の説明をお願いしたい。

⇒ (事務局)

- ・第3次計画には書いているが、食育の取組は行政だけで取り組むのではなく、それぞれの立場で一緒に取り組んでいこうという、方向性を示していきたいと考えている。
- ・具体的な事業を書くというよりは、こういう目標に向かって取り組んで行こうという方向性を示していると考えていただきたい。
- ・高知市の示す方向性を元に、関係団体、学校や保育所でもこういうことをしようと、一緒に考えていただけるように、計画を策定したいと考えている。
- ・環境への配慮という言葉は付け足されるということだが、ぜひ低農薬やオーガニックの食材を使う等、環境だけではなく人体にも配慮したような食材を使うことも推進していただけたらと思う。

- ・取組の具体的な案やアイデアは、どこで意見を集約するのか。

⇒ (事務局)

- ・計画の案は、庁内の関係部署が食に関する様々な取組について現在の業務をもう一度見つけ直し、今後6年間を見据えて方向性を決めていく。
- ・庁内だけではなく、それぞれの部署の関係団体の取組についても協力していければということで現在検討している。

3 事務連絡

4 閉会